

intertek news

Vol.94

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 規格改訂をきっかけに

02 特集 03 規格改訂を読み解く

～新任担当者のための5つの基本ポイントと3つの重要ポイント～

04 News & Topics

- ▶ IATF 16949およびIATFルール第6版のSIs・FAQsを更新
- ▶ 新:ISO/IEC 27001 審査員養成コンバージョンコースのご案内
- ▶ GX-ETS 排出量取引制度の登録確認機関に登録
- ▶ Information:FSSC 22000 Version 7 改訂のポイント

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社モルテン スポーツ事業本部)

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「今を生きるブラジル人からの学び」
(審査員 佐伯 貴志)
- ▶ 環境よみものーゆらぐ時代と、つなぐ力
「人を『育てる力』ーESG経営を支えるISOの価値」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「地球に優しいエネルギー活用」
(株式会社コールド・エアー・プロダクツ)
- ▶ 「『よかった』と言ってもらえる医療・介護サービス」
(一般社団法人衛生文化協会 城西病院 予防医学部)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(株式会社遠藤製作所)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

規格改訂をきっかけに

営業部 西日本エリア 大阪事務所／主任審査員 ^{みの ひでお} 美濃 英雄



2026年から2027年にかけて、ISOマネジメントシステム規格は重要な節目を迎えています。ISO 14001(環境マネジメントシステム)は2026年4月15日に改訂規格が発行され、ISO 9001(品質マネジメントシステム)についても、同年9月16日に改訂規格が発行されました。さらに、ISO 45001(労働安全衛生マネジメントシステム)も2027年に改訂が予定されており、企業のマネジメントに対する国際的な要求は今後も継続的に高まっていくことが見込まれます。

これらの規格改訂の背景には、気候変動対策をはじめとする環境規制の強化や、品質・安全に対する社会的要求の高度化があります。特に近年は、自社の活動だけでなく調達先や委託先を含めたサプライチェーン全体でのリスク管理や説明責任が、企業の信頼性や事業継続に大きな影響を与えているようになっています。

ISO認証はこうした要求への対応状況を第三者の立場から確認し、取引先や顧客に対して信頼性を示す有効な手段です。一方で、ISOは単なる対外的な証明にとどまらず、業務プロセスの整理や課題の明確化を通じて、経営改善に活用できる実践的な仕組みでもあります。日常業務とマネジメントシステムを結び付けることで、その効果は一層高まります。

「今回の規格改訂は、前回ほど大きな改訂ではない」と考えられている人も多いでしょう。そうした中、弊社主催の「規格改訂情報と企業交流会2026」が数カ月にわたり各地で開催され、私も担当エリアの関西回に参加する機会がありました。会場では、改訂内容だけでなく、自社のマネジメントシステムやリスク管理のあり方、移行審査への準備などについて、参加者の皆さんが熱心に意見交換されており、規格改訂に対する高い関心と積極的な取り組み姿勢に感銘を受けました。

私は営業担当としてお客様をはじめとするさまざまな組織の課題やご要望を伺う機会があり、同時に審査員として多くのお客様のマネジメントシステムに触れる機会もあります。その経験から感じるのは、今回の改訂は要求事項への対応にとどまらず、自社の仕組みを見直し、より実効性の高いマネジメントシステムへと発展させる好機であるということです。移行審査までの準備期間を活用して改訂要求事項への理解を深め、内部監査等を通じて運用状況を確認することは、経営課題やリスクへの対応力向上にもつながります。

また、2026年版への移行に向けた審査機会は限られているため、再認証審査を予定されているお客様は、そのタイミングで移行審査を実施いただくことで、効率的かつ円滑な規格移行につなげることができます。負担を抑えながら移行を進めるためにも、早めの対応をご検討いただければ幸いです。

インターテック・サーティフィケーションでは、規格改訂への円滑な対応と実務への定着を支援するため、各種トレーニングやセミナーを提供しております。引き続き、認証機関としての第三者の立場から、規格改訂を経営強化につなげていただくための支援を提供してまいります。